

通期の見通し

企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、国内では震災の復興需要や企業収益の改善により企業の設備投資の緩やかな持ち直しが期待できます。しかし、国内の電力不足や原子力災害の影響、欧州債務問題や新興国の景気減速の懸念など国内景気が下押しされるリスクが存在し、依然として国内経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境のもとで、企業のIT投資は慎重さを伴いながらも、底堅く推移するものと予想されます。西暦2000年問題対応のために導入したシステムの更新需要二巡目、IPv6対応などによる買い換え、タブレット端末の活用などによるIT市場の活性化や新たな市場の創出が期待されています。また昨年に引き続き、省電力パソコンやサーバの導入、サーバの統合化、省電力機器やLED照明を利用したBEMS(ビルエネルギー管理システム)の導入など電力使用量削減と、バックアップサービスやASPなどのデータセンター利用によるBCP対策が企業に必要とされています。

お客様との接点を強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは地域密着型運営体制のさらなる強化のもと、お客様との接点を強化してワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、コスト削減や生産性向上などお客様の問題解決につながるシステム提案を積極的に行い、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮していきます。

2012年の方針と施策

スローガン

『お客様の目線で信頼に応え、オフィスを元気にする』

ワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、お客様接点を強化

ITニーズ、省エネニーズを顕在化させる

顧客深耕と新規開拓を並行して進める

総合提案・複合提案の推進

ストックビジネス強化

また複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材の整備・拡充による品揃え、魅力ある保守サービスメニューの開発などストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実を図ります。

セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線などを組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進します。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実などを図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。

通期の業績予想

以上を踏まえ、2012年2月1日に発表した通期の連結業績予想を、以下の通り修正いたします。

売上高5,029億円(前年同期比5.2%増)、営業利益266億円(前年同期比15.2%増)、経常利益273億円(前年同期比17.1%増)、当期純利益152億70百万円(前年同期比19.8%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が2,773億80百万円(前年同期比5.7%増)、サービス&サポート事業が2,248億円(前年同期比4.8%増)、その他の事業が7億20百万円(前年同期比36.3%減)。

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2011年 12月期	2012年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	478,215	502,900	+5.2%
営業利益	23,095	26,600	+15.2%
経常利益	23,315	27,300	+17.1%
当期純利益	12,744	15,270	+19.8%

セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2011年 12月期	2012年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	262,508	277,380	+5.7%
サービス&サポート事業	214,576	224,800	+4.8%
その他の事業	1,130	720	-36.3%